

1 Campus News

熊本地震被災地への歯科医療救護活動に参加

多職種連携で被災者の健康を支援

福岡歯科大学医科歯科総合病院

病院長 池邊 哲郎

去る平成28年4月14日と16日に、2度にわたって震度7の地震が熊本・大分地方に発生し、本学同窓生を含む多くの方が被災されました。被災者に対して心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。もに一日も早い復興を祈念します。

この地震に対して、日本歯科医師会ならびに九州地区連合歯科医師会からの要請により、福岡歯科大

学の支援チームが2度にわたって南阿蘇村を訪れ支援活動を行いました。第一陣は、森田浩光 病院教授（総合歯科学）、加藤智崇 助教（高齢者歯科学）、常岡由美子 歯科衛生士、亀井寛子 歯科衛生士の4名

で、4月24日から5月1日まで活動し、第二陣は、都築 尊 准教授（有床義歯学）、山口真広 歯科医師（高齢者歯科学 大学院3年生）、堀

部晴美 短大教授（歯科衛生士）、久家雅美 歯科衛生士の4名で、5月15日から5月22日まで活動しました。森田病院教授と堀部教授は東日本大震災でも支援活動をした経験者です。

東日本大震災では震災後3ヵ月経つてやっと歯科チームが現地入りしましたが、今回は地震発生後1週間ほどの初期段階から介入を始



JRATと本学チームとのミーティング



塩崎厚生労働大臣に説明する加藤助教



歯科治療支援をおこなう都築准教授



第二陣の本学チームと福岡県歯科医師会との集合写真

めました。JMAT（日本医師会 災害医療チーム）やJRAT（大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会）と協力しながら、老健施設、障害者施設および居室の要介護高齢者などいわゆる災害弱者の口腔管理、摂食嚥下のアセスメントや嚥下指導を行い、誤嚥性肺炎による震災関連死をゼロにすることを目標に活動しました。本学チームは余震が続く中で献身的に支援を行い、高い評価を受け、「災害時多職種医療連携」における歯科のプレゼンスを高めることができました。そして何よりも福岡歯科大学が被災者の健康に貢献できたことを誇りに思う次第です。

急な派遣にも関わらず協力していただいたメンバーと南阿蘇での活動を支援していただきました地元の本学同窓生の皆様に感謝申し上げます。